

令和 6年度 (2024 年度)
飛び入学に関する自己点検・評価報告書

名古屋音楽大学
令和7年 (2025年)

自己点検・評価の状況について

飛び入学に関する自己点検・評価の実施状況

実施時期：令和 7（2025）年 6月
実施体制：大学内に大学評価委員会を設置し、点検を行い「自己点検評価書」を作成している。

1 飛び入学の趣旨等について

1-1 飛び入学を実施する趣旨

中部地方には、音楽の分野において飛び入学制度の導入をしている大学はない。そのため、本制度を導入することにより、中部地方をはじめ全国に在住している優れた人材を早期に大学入学の機会を与え、その才能のより一層の伸長を図るもの。

1-2 飛び入学をする学生に求める資質

- ・国際的感覚を持ち、専門分野において大変優れた資質を持つ者
- ・積極的な学生生活を送れる者

2 入学者の選考状況について

2-1 飛び入学による受入状況（令和 6年度（2024年度）実績）

| 募集分野(学部・学科等名) | 募集人数 | 志願者数 | 入学者数 |
|---------------|------|------|------|
| 音楽学部 音楽学科 | 若干名 | 0人 | 0人 |

2-2 出願に際して大学として工夫していること

在学する高等学校長の推薦に加え、音楽的な資質の確認を行うために、実技指導者1名（高等学校卒業程度認定試験の合格者は2名）の推薦を必要としている。また、高等学校教員やレッスン指導者を対象とした説明会を開催し、求める学生像や選抜方法などを説明したうえで、意見を求め、改善するなどの体制を整えている。

2-3 具体的な選考方法及び選考方法についての工夫していること

・選考方法

第一次選抜…書類審査
第二次選抜…実技・面接

- ・選考方法について工夫していること

第一次選抜において書類審査を実施。
書類審査にて、『優れた能力』を確認するために以下の内容について審査を行う。

- ・調査書による高校在学時の学修の審査
- ・推薦書内容の審査
- ・履歴書による音楽履歴の確認、審査
- ・志望理由書・研究計画書にて、本人の学修意欲の審査

第二次選抜は実技・面接を実施し、総合的に判断を行う。

3 入学後の教育内容及び指導体制について

3-1 教育内容の特色

提出された研究計画書の内容をもとに、入学後の学習および履修計画をたてて学ぶ。本人の希望に合わせたレッスン体制の『オーダーメイドレッスンスタイル』の導入
アカデミックアドバイザーを中心としたきめ細かい教育体制による、高等学校の継続的な学修を行うなど、基礎学力の伸長に向けた取り組み。

3-2 指導体制の特色

入学から卒業までマンツーマンのアカデミックアドバイザーがつき、履修相談や学生生活相談の体制を整えている。小規模大学がならではの、きめの細かい指導体制により、相談内容等によってコース担当教員や専攻担当教員などへ柔軟に支援体制を整えることができる。

3-3 学生の状況

| 入学年度 | 入学者数 | 在学者数 | 転学者等 |
|----------------|------|------|------|
| 令和 5 (2023) 年度 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 令和 6 (2024) 年度 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 令和 7 (2025) 年度 | 2 人 | 2 人 | 0 人 |

※令和 5 (2023) 年度入試より募集開始

4 大学と高等学校等との連携に関する取組状況

高等学校教員やレッスン指導者を対象とした説明会を実施し、求める学生像や選抜方法などを説明したうえで、意見を求めている。
大学で開催される国内外の著名な演奏家の公開講座を、およそ年間20回ほど実施しており、高校学校生徒や教員も聴講、受講できる機会を設けている。

5 自己点検・評価の総括及び今後の取組

5-1 飛び入学に関する自己点検・評価の総括

東海地区の音楽科高等学校を中心に広報活動やSNS・HP等での広報、また高等学校教員や指導者に対して説明会を行うなどの広報活動に務めたものの、志願者が0名という結果が続いているが、地道な広報活動により問い合わせも多くなってきている。（令和7年度は広報が功を奏して2名の入学者があった）

5-2 今後の取組

今後、志願者の確保に向けて本学教員による東海地区を中心に全国の高校に出向いての説明会や本学教員による公開レッスンなどを実施することで、大学の指導能力の高さや指導環境の魅力を周知する機会を設ける。また、高等学校教員やレッスン指導者を対象とした説明会の実施をするなど、志願者の確保につなげたい。